

第7回長島の子表彰式

子どもたちの個性をほめて伸ばす

1月28日、町文化ホールで第7回長島の子表彰式が開催され、町内の小学6年生106人と、中学生3人、3団体が表彰されました。

これは、児童や生徒の優れた個性を地域ぐるみで見つけ、ほめて育てることを狙いに「奉仕賞」「親切賞」「スポーツ賞」「学芸賞」「読書賞」「創造賞」「勤労賞」「友情賞」「特別賞」の9賞が設けられています。受賞者には、一人ずつ川添町長から賞状が、村田教育長からメダルが手渡されました。

「学芸賞」を受賞した島田さゆりさん（獅子島小6年）は「6年間頑張ってきたことを評価してもらってうれしいです。中学生では、一日一日を頑張り皆との温かい交流を通じて強い心や人を優しく思う思いやり、感謝の心を持つ人間になりたいと思います」と受賞者を代表してお礼の言葉を述べました。



↑ 賞状を受け取る児童

伊唐港で交付金事業着工

関係者らが安全を祈願

1月12日、伊唐港で社会資本整備総合交付金事業の起工式が行われました。

この工事は、総事業費7億1千万円で、同港に防波堤や浮棧橋工事など、これから4年をかけて整備する予定です。

式には、川添町長はじめ竹山司郎伊唐公民館長など約30人が参列し、工事の安全を祈願しました。

その後、川添町長の合図で、沖合に停泊したクレーン船から花火の合図と同時に礎石が投入され、安全祈願と起工を祝いました。



↑ 合図とともに礎石が投入される

伊唐小学校でプログラミング学習

ロボットをiPadを使って動かす

1月30日、伊唐小学校(19人・久保和久校長)3・4年生の総合的な学習時間にプログラミング学習が行われ、本町の地域おこし協力隊の間瀬海太さんと神明竜平さんが講師として参加しました。

今回は、iPadとSpheroというボール型のロボットを使って学習。ロボットの基本的な動きのプログラムを、児童ら全員で話し合いながら、iPadを使って動きを指示していました。

授業を終えた馬場一步さん(3年)は「自分の作ったプログラムで、ロボットを動かすことができて楽しかった」と満足げに話していました。



↑ SpheroとiPadを使って動かす児童ら